

センターだより



ポッチャクラブで真剣勝負!

目次

- 苦境を乗り越えて…………… 1
- 頸髄損傷者を対象とした就労移行支援事業の開始について… 2～4
- ときめき作品展 ときめき大賞受賞…………… 4
- 食事サービスに関する満足度調査の結果について…………… 5～6
- 転入・新規採用職員からのひとこと…………… 7
- 職員の異動…………… 8
- 終了者の状況、利用者募集のご案内……………裏表紙



苦境を乗り越えて・・・

所長 工藤 裕司

新型コロナウイルスへの感染拡大は、いまだ安心して生活できるまでには収束しておりませんが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？新年のご挨拶をさせていただいた直後から、世の中は一気に自粛ムードとなり、当センターにおきましてもご家族等の面会や利用者の外出に関する制限を行うとともに、所内外の行事や各種実習生の受入中止など、かつてない厳しい対応を取らせていただきました。併せて、日頃から大変お世話になっておりますご家族の皆様、関係機関や地域の皆様に対しまして、様々なご協力をお願いをさせていただき、本当に申し訳なく思っております。しかしながら、皆様からのあたたかいご支援、ご協力をいただきましたことで、当センターにおきましては、一貫して訓練サービスを止めることなく、また、ひとりの感染者・濃厚接触者も出すことなく、安全に施設運営を続けられておりますことを、この場をお借りして心から御礼申し上げます。

奇しくも1月の新年号では、「今年は様々な職種のスタッフが一丸となって目標達成に取り組み、後悔の残らないようにベストを尽くす年にしたい」との抱負を書かせていただきました。しかし、その時点では、最初の試練が感染予防対策になるとは思ってもみませんでした。当センターの利用者の皆さんは、ほぼ全員が頸髄損傷者です。頸髄損傷は、排泄機能障害や呼吸器機能障害を伴いますので、今回の新型コロナウイルスに対しては全ての頸髄損傷者がハイリスク者であるといえます。このため、施設内にウイルスを持ち込まないための取り組みに関しては、一般的な福祉施設よりも厳重な感染防止対策が求められています。関係者の皆様におかれましては、この新型コロナウイルスが完全収束するまでの間は、引き続き、なにとぞご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

さて、当センターにおきましては、10月から新たに頸髄損傷者のための就労移行支援事業を開始する予定です。感染予防対策の影響で一時的に利用者数が減少しておりますが、ナショナルセンターの一員として、苦境を乗り越えながら新たな活動も始めなければなりません。詳細は後掲の記事をご覧ください。概要がおわかりになると思います。目下、大分県から追加の事業者指定を受けるための手続きを進めております。

また、今回は、給食サービスの充実に向けた取り組みもご紹介させていただきます。幸いなことに、食事については利用者の皆様から高い評価をいただいております。秋には外部の専門機関により、すべてのサービスに対する第三者評価も受審する予定となっております。

職員一同、サービスの向上に向けていっそうの努力をして参りますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

頸髄損傷者を対象とした就労移行支援事業の開始について

支援課 中山 修司

当センターでは、令和2年10月から、従来の自立訓練（機能訓練）事業に加えて、就労移行支援事業を開始します。この事業ではADLが未自立な頸髄損傷者でも、パソコンを活用して就労できることを目指します。具体的には、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練や、就労に関する相談・支援を行います。

これまで当センターでは、主に頸髄損傷等による重度の肢体不自由の方を対象とした自立訓練（機能訓練）サービスを提供するなどして、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう各種の訓練や支援を行ってきました。しかし、国の施策として「障害者等が、希望や能力、障害や疾病の特性等に応じて最大限活躍できる環境を整備するため、就職支援及び職場定着支援、治療と職業生活の両立支援等を推進する（ニッポン一億総活躍プラン H28.6.2閣議決定）」が打ち出されました。また、国立障害者リハビリテーションセンターの方針として「頸髄損傷者の取組拠点としての機能を維持するとともに頸髄損傷者に対する在宅就労支援を進める必要がある（同センター今後のあり方についての報告書 H30.12）」ことが掲げられました。これらを受け、西日本における頸髄損傷者に対する拠点機関として、リハビリテーションパス（地域の医療機関→【当センター自立訓練→就労移行支援】→就労・地域生活）を構築、重度の頸髄損傷者の就労を促進し、新たなニーズへの対応等で得られたノウハウを発信するため、就労移行支援事業を開始することとなりました。

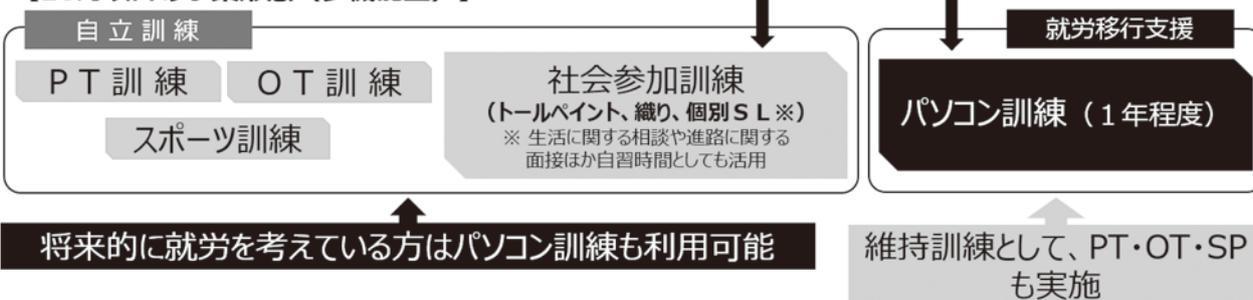
これに伴い、当センターはリハビリをメインにした自立訓練と、パソコン訓練を中心とした就労移行支援の複数事業による多機能型事業所となります。多機能型の優位性を活かし、自立訓練利用者であっても将来的な就労や資格取得を希望される方はパソコン訓練を受けることができますし、就労移行支援利用者でも維持訓練としてPT・OT・SPといった機能訓練を受けることが可能です。（下イメージ図参照）

事業形態及び提供内容の一部が変わります

【これまでの事業形態（単機能型）】



【10月以降の事業形態（多機能型）】



Point

当センターが多機能型となることから、両事業の良いところを相互に使える

【対象者等】

まずは、当センター自立訓練を利用している（あるいはしていた）方で就労意欲のある方を対象にスタートします。特に、全国的にも就労率の低い「ADL一部自立」、「ADL非自立」の方の在宅就労にも取り組んでいきます。訓練期間は概ね1年間を想定しており、定員は6名です。

【日課時限】

ADLの自立度や障害別状況等で設定する予定です。ADLが未（非）自立者の場合には、自立訓練と同じ日課時限で介護による入浴や排便なども含めた時間割を組んでいきます。これは、例えば在宅就労した場合に、自宅でヘルパーや訪問看護を受けながら働くことを想定しており、生活及び就労のリズムを作っていきます。一方、ADL自立者の場合には、朝9:00～16:30までを訓練時間として、途中の昼休憩のほか、必要に応じて維持訓練なども組み込んだ日課時限となります。こちらは、オフィスでの勤務を想定した就労リズムを作ることが目標となります。

就労移行支援の日課時限

- ADLの未（非）自立/自立で日課時限を変更していく
- 週15時間以上のパソコン訓練を実施、維持的訓練は週に各1回程度を想定

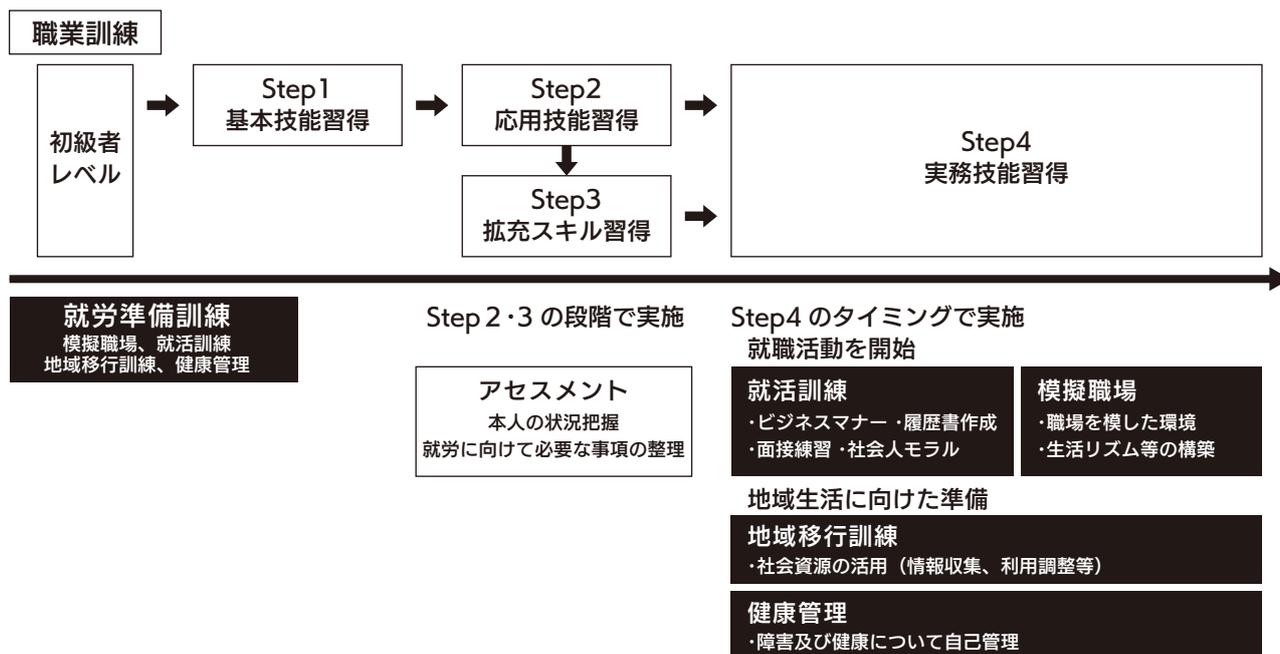
自立訓練と同じ日課時限						就労生活を想定した日課時限					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
9:20 -10:20	就労	就労	就労	就労	就労	9:00 -12:00	就労	就労	就労	就労	就労
10:40 -11:40	就労	就労	就労	就労	就労		就労	就労	就労	就労	就労
昼休み						昼休み					
13:00 -14:00	P T	排便	入浴	排便	S P	13:00 -16:00 (16:30)	就労	就労 S L	就労	就労 HR/SL	就労
14:20 -15:20	就労	就労	O T	就労	就労		就労	就労 S L	就労	就労 HR/SL	就労
15:40 -16:40	入浴	S L	就労	HR/SL	入浴						

- 徐々に就労生活を想定したパターンに移行。移行後も介助浴等が必要な方には、プログラムへ組み込む。
- SL→生活に関する相談や進路に関する面接ほか自習時間としても活用。

【支援内容】

パソコンの技能習得を図り、最終的には実務レベルまで技能習得することを目指します。また、これと並行して、ビジネスマナーや社会人モラル、職業人としての生活リズムを整えていく支援も行います。また、地域での生活に向けて、地域の社会資源の活用や自身の健康管理もできるようにし、トータルで自身の生活を組み立てられるように支援します。

就労移行支援の流れ



この事業の開始により、頸髄損傷者の就労が促進されるよう、職員一同尽力する所存です。リーフレットも同封しておりますので、併せてご覧ください。次回のセンターだよりでは、開始された事業の実際についてお伝えする予定です。

ときめき作品展 ときめき大賞受賞

支援課 生活訓練専門職 水谷 彰

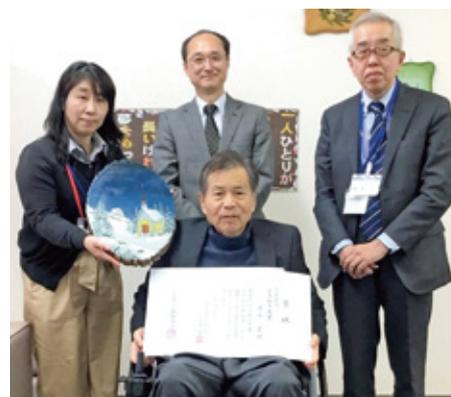
今年の2月5日から9日にかけて、大分市のiichikoアトリウムプラザにおいて障害のある人による芸術展「ときめき作品展」が開催されました。職能訓練では、平成14年度の初回開催から毎年出展しており、今年も7名の訓練生の手織り・トールペイントの作品を出展しました。

その中で、今回は工芸の部門において、永谷 定さんのトールペイント作品が「ときめき大賞」を受賞しました。「ときめき大賞」とは、開催期間中に来場した方々にアンケート調査を行い、絵画・工芸・写真・書・陶芸・合作の部門ごとに感動した作品を選んでいただき、部門ごとに最も投票数の多かった作品に与えられる賞です。

「ときめき作品展」への参加は、日頃の訓練成果を発表・展示することで地域のより多くの方々に当センターの存在を知っていただき、障害者に対する理解を深めること、また利用者の社会参加へのきっかけ作りを目的としています。



工芸部門大賞受賞
「聖夜の教会」

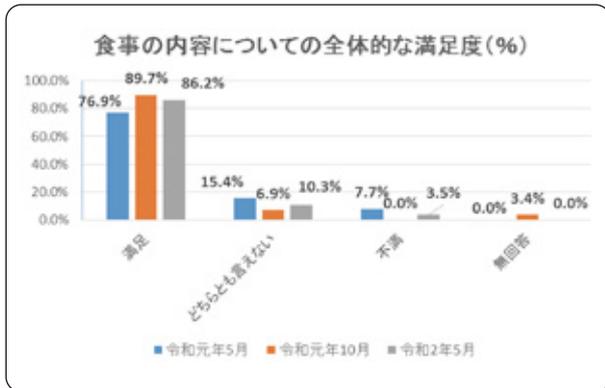


受賞式にて
(中央が永谷さん)

食事サービスに関する満足度調査の結果について

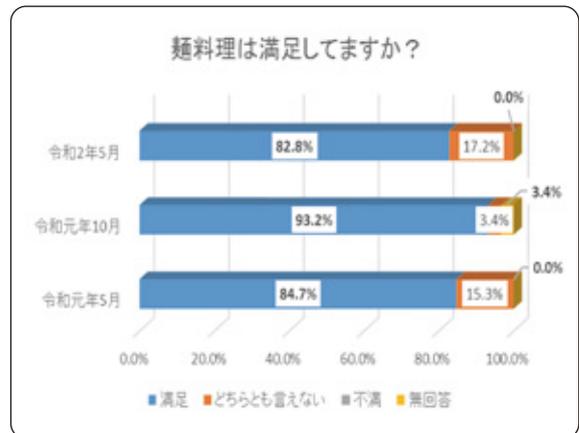
庶務課 栄養係長 松岡 里佳

今回、自立支援局の各施設が食事サービスの向上を目的に、半年ごとに合計3回（令和元年5月、10月、令和2年5月）にわたって実施した満足度調査に関して、別府センターでの結果がまとまりましたのでご報告します。本調査は、ほぼすべての利用者に聞き取り方式で行いましたが、毎回とても丁寧にご回答をいただき、この場を借りてお礼を申し上げます。



食事の全体的な満足度は、左のグラフのとおり、3回の調査の平均が84%以上と、高い水準を維持できました。料理別では、肉料理は60～80%、魚料理は50～65%の方に満足と回答されており、やはり魚よりも肉の方が人気という結果となりました。不満の理由は、嗜好的なものから“味が苦手”、“味が薄い”、“牛肉がパサついている”など厳しいご指摘もいただきました。肉や魚は“におい”や“パサつき”がないようヨーグルトや酒で下処理をしていますが、さらに丁寧に下処理を行う必要があると感じました。

当センターでの一番人気は、実は肉料理ではなく麺料理です。右のグラフのとおり、麺料理の満足度は9割を超えることもあり、特に集団給食では難しいとされるラーメンの満足度が高いのが特徴です。その背景には、地元の麺業者と打ち合わせをして特注生麺を仕入れています。さらに、利用者が食堂に入って来られるのを見ながら、個別に茹で始めます。利用者には麺が茹で上がるまで少しお待ちいただくこととなりますが、選択メニューの中では常食を超える出食数となるなど、不動の人気を誇っています。



麺は1玉ずつ茹でます。



具の盛り付け

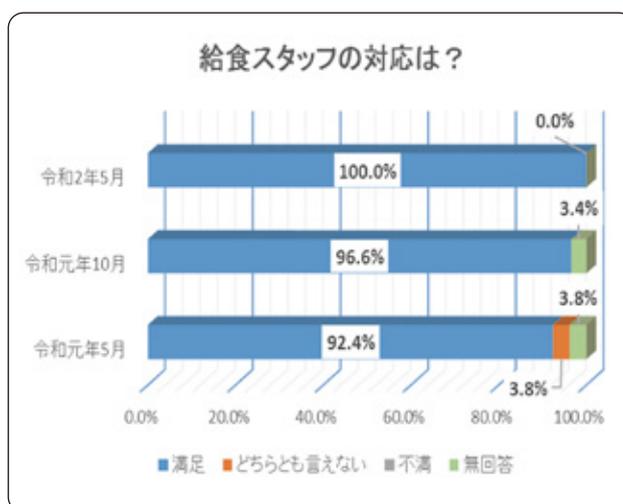


とんこつラーメンのできあがり

ラーメンはとんこつラーメンの他に醤油ラーメン、みそラーメンも提供しており、選択メニューの際には毎回85%以上の方がラーメンを選択していただく状況となっています。

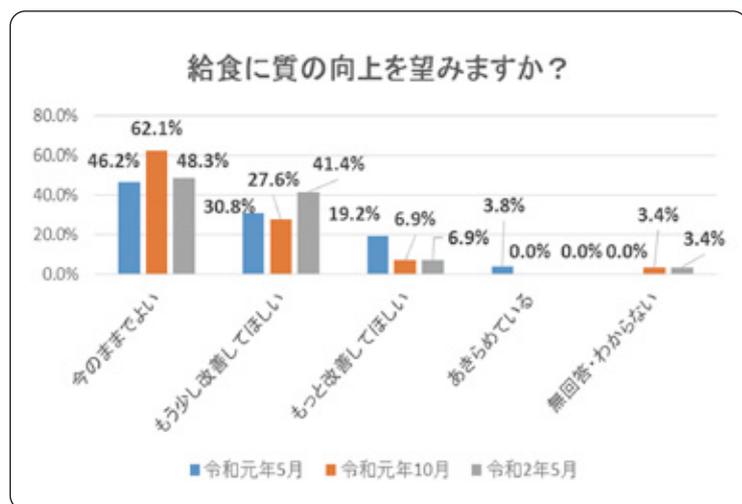
給食スタッフの対応については、栄養士が直接利用者から聞き取っていることも影響してか、平均で96%以上の満足度となりました。食堂では栄養士や調理師の他に看護師、介護福祉士も見守りや配膳を行います。配膳は、障害状況によって利用者ごとに器の種類や配置を設定しており、異物混入をさけるために利用者の目の前に配膳してから各器の蓋を開け、お茶をセットしています。パック飲料のストロー挿しやバナナの皮むき（希望者にはバナナカットも実施）などにも対応しています。また、朝食では利用者が食堂に来られてから、パン焼き器でトーストして提供しています。そして一番大切なこととして、配膳するスタッフ一同、常に笑顔での対応を心がけています。

最後に、「給食にさらなる質の向上を望みますか?」との質問では、平均して50%以上の方が「今のままでよい」と回答しています。なかには「〇〇が食べたい」、「〇〇が嫌い」などのほか、



“個別の要望をもっと取り入れてほしい”、“食費を上げてもいいので食事のランクを上げてほしい”などの要望もありました。

これからもできることからさらに改善に取り組み、安心・安全で質の高い食事を提供できるよう努めてまいります。そして、今日も利用いただいている利用者みなさんに、少しでも喜んでいただける食事の提供を目指します。



(参考)



きのこの炊き込みご飯の献立 (昼食)



麻婆豆腐の献立 (夕食)

転入・新規採用職員からのひとこと

叶野 みずえ (庶務課・主査)

自分の公務員生活、始まりは玄界灘に面したところ、その後、相模灘、津軽海峡、と巡って海無し県に行ったと思ったら、別府湾、久しぶりに海が見えるところで働くことになりました。名前の通り、水辺が好きです。よろしくお願いいたします。

高橋 文孝 (支援課・主任就労支援専門職)

国立障害者リハビリテーションセンター (埼玉県所沢市) より転任して参りました高橋と申します。別府センターから望める別府湾や鶴見岳の景色が気に入っています。4年ぶり2度目の勤務となりますが、よろしくお願いいたします。

濱野 清悟 (支援課・生活支援専門職)

福岡視力障害センターから異動してきました、濱野清悟と申します。実は別府センターは私の初任地です、20年ぶりにスタート地点に戻ってきたこととなります。はじめましての方もお久しぶりの方も、よろしくお願いいたします。

松崎 啓 (支援課・生活支援専門職)

埼玉県の国リハセンターで3年前に採用され、主に頸髄損傷の方の社会支援を担当していました。初めての異動で不慣れな点もありますが、これまでの業務の経験を活かし、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

徳山 和揮 (支援課・就労支援員)

本年5月1日より別府重度障害者センター支援課で採用になりました。徳山和揮と申します。新天地での挑戦になりますので、様々なことを学び、習得できるよう一生懸命頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

杉本 希美 (医務課・看護師)

4月に新規採用となりました杉本です。

看護師はお節介くらいが丁度いいという信念のもと、皆様が安心・安全に訓練に臨めるように日々頑張っています。お笑いや絶叫系、美味しい物が大好きです。よろしくお願いいたします。

土屋 直美 (医務課・看護師)

5月7日より入職しました。土屋直美です。一昨年に別府へのUターン移住となりました。今までの経験を活かし、別府センターでも皆さんのお役に立てるよう頑張ります。“いつも笑顔で前を向いて歩こう”がモットーです。

職 員 の 異 動

令和2年3月31日付

- | | | |
|--------|---------|--------|
| ○ 定年退職 | 庶務課長 | 佐藤 春巳 |
| | 庶務課調理師長 | 川野 寿喜 |
| | 医務課看護師 | 高橋 恒子 |
| ○ 任期満了 | 庶務課長補佐 | 仁木 登志博 |

令和2年4月1日付

- | | | |
|--------|----------------|-------------------------------|
| ○ 新規採用 | 医務課看護師 | 杉本 希美 |
| ○ 転 入 | 庶務課主査 | 叶野 みずえ (国立障害者リハビリテーションセンターより) |
| | 支援課主任就労支援専門職 | 高橋 文孝 (国立障害者リハビリテーションセンターより) |
| | 支援課生活支援専門職 | 瀨野 清悟 (福岡視力障害センターより) |
| | 支援課生活支援員 | 松寄 啓 (国立障害者リハビリテーションセンターより) |
| ○ 転 出 | 支援課長 | 山下 庄二 (函館視力障害センターへ) |
| | 支援課生活支援専門職 | 水本 達也 (神戸視力障害センターへ) |
| ○ 内部異動 | 庶務課長 | 西川 浩一 |
| | 庶務課長補佐 | 寺上 省吾 |
| | 庶務課主査 (併) 庶務係長 | 長島 えみ史 |
| | 庶務課副調理師長 | 首藤 真二 |
| | 庶務課支援管理係長 | 丸山 由紀子 |

令和2年5月1日付

- | | | |
|--------|----------|-------|
| ○ 新規採用 | 支援課就労支援員 | 徳山 和揮 |
| ○ 育児休業 | 医務課看護師 | 加藤 悟 |

令和2年5月7日付

- | | | |
|--------|--------------|-------|
| ○ 新規採用 | 医務課看護師 (任期付) | 土屋 直美 |
|--------|--------------|-------|

令和2年7月1日付

- | | | |
|--------|------------|------|
| ○ 内部異動 | 支援課生活支援専門職 | 松寄 啓 |
|--------|------------|------|



終了者の状況

(令和2年1月1日～令和2年6月30日)

復帰形態	家庭復帰	就職	自営・内職	現職復帰	就労支援施設 ・能開校	他施設	病院	進学	その他	計
人数	7	1	0	0	1	3	1	0	2	15
比率(%)	46.6	6.7	0	0	6.7	20.0	6.7	0	13.3	100.0

利用者募集のご案内

当センターが提供する障害福祉サービス

サービス名	サービス内容	利用期間
自立訓練 (機能訓練)	理学療法、作業療法、 スポーツ訓練、職能訓練等	利用開始後の概ね2週間で各部門が評価や 面接を行い、その結果に基づき作成された 個別支援計画書に定めた期間となります。
施設入所支援	自宅から通所が困難な方 は、看護・介護等の支援を受 けながら宿舎の利用が可能 です。	自立訓練の利用期間に準じて設定

ホームページにはさらに詳しい情報を掲載しておりますのでぜひご覧下さい。

別府重度

検索

<http://www.rehab.go.jp/beppu/>

お問い合わせ先

国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局

別府重度障害者センター 支援課

住所 〒874-0904 大分県別府市南荘園町2組
 電話 0977-21-0182(利用相談) FAX 0977-21-2794
 E-mail soudan-beppu@mhlw.go.jp

頸髄損傷者の自立訓練(機能訓練)は、下記の国立障害者リハビリテーションセンターの利用も可能です。

国立障害者リハビリテーションセンター

所在地 〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地
 電話 04-2995-3100(代) FAX 04-2992-4525(直通)

国リハ

検索

<http://www.rehab.go.jp/>